

第12回 仙台ジュニアオーケストラ編



▲練習風景



▲迫力ある演奏を体感。24日のコンサートが楽しみです

仙台ジュニアオーケストラは、公募で選ばれた小学5年生から高校2年生110人で構成され、日立システムズホール仙台を会場に月3、4回程度、仙台フィル楽団員から直接指導を受けながら練習しています。プロの演奏家から常時指導を受けられるジュニアオーケストラは全国的にも珍しく、大きな特徴です。私も昨年初めて演奏を聴かせていただきましたが、完成度の高

仙台ジュニアオーケストラの練習にお邪魔して、団員や事務局職員の方々に話を伺いました。

初めての合奏練習

古今東西  
くんぐん  
行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し市民の皆さまの活動の様子などをお伝えします

さにとても驚きました。お邪魔したのは、3月24日に開催されるスプリングコンサートに向けた、初めての合奏練習の日。団員の皆さんは「緊張する」と話していましたが、平川範幸音楽監督の下、これまでのパート練習の成果を発揮すべく、真剣なまなざしで演奏している姿が印象的でした。これから演奏会までがぐっと集中力を高める時期。今年も素晴らしい演奏が期待できそうです。

たくさんの学びがある

中学生の時に入団し、3月で卒団を迎える高校2年生の団員3人と事務局職員の方にお話を伺いました。入団当時を振り返り「オーケストラが好きでその中に自分が入れるのがうれしかった。今は音楽が純粋に楽しいと思える場所」と小島梨奈さん。練習を重ねる中でオーケストラの楽しさを実感したと話す皆さん、それには指導者の方々の出会いも大きかったよう。「先生方が対等に向き合ってくれたことが深く心に残っている」と粕谷柊子さん。佐々木健心さんも「演奏技術はもちろん、礼儀やあいさつなども教えていただいた」と話します。技術だけでなくどまらず心の在り方まで、プロの姿勢から多くのことを吸収したんですね。集大成となるコンサートを前に「10代ならではの演奏を聴いていただけた

ら」と皆さん。事務局を担う仙台フィル職員の氏家一葉さんも「勉強も部活動も忙しい中、半年以上練習してきた成果が発揮された演奏は、プロの演奏とはまた違う感動があります」と見どころを教えてくださいました。将来はプロの奏者や音楽関係の仕事など、皆さんの進む道はさまざまですが、音楽とは離れずに何かしら関わっていきたくと力強く語ってくれました。

音楽文化が高める街の魅力

来年度、発足30周年を迎える仙台ジュニアオーケストラ。「楽都仙台」の一翼を担う本市の大きな財産の一つです。音楽は、豊かな心や感性を育みます。また、震災時には音楽の持つ力が心を癒やし、勇気づけてくれました。本市には多種多様な音楽イベントがありますが、誰もが気楽に音楽に親しみ、楽しめる環境づくりが大切。音楽が街を彩り、にぎわいの創出や街の個性につながるよう、一層推進していきます！

団体紹介

仙台ジュニアオーケストラ  
音楽文化の一層の振興と発展を図ることを目的に平成2年発足



佐々木健心さん



粕谷柊子さん



小島梨奈さん



氏家一葉さん  
(事務局)

※仙台ジュニアオーケストラの団員募集について、詳しくは15ページをご覧ください